

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信

平成 21 年 1 月 30 日

上場会社名 株式会社ナガホリ

上場取引所 東

コード番号 8139 URL <http://www.nagahori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀慶太

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡悠一

TEL (03)3832-8266

四半期報告書提出予定日 平成 21 年 2 月 13 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	12,258	-	145	-	△76	-	△235	-
20年3月期第3四半期	13,092	△9.6	362	△37.8	271	△44.0	148	△78.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	△ 14.85		-	
20年3月期第3四半期	9.21		-	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円			円 銭	
21年3月期第3四半期	24,460	14,387	58.7	908.21			
20年3月期	24,262	14,802	60.9	930.73			

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,350百万円 20年3月期 14,774百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
21年3月期(実績)	-	5.00	-	-	-
21年3月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	15,500	△10.0	50	△89.8	△150	-	△350	-	△22.15	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 16,773,376株 20年3月期 16,773,376株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 972,713株 20年3月期 899,155株

③ 期中平均株式数 (四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 15,863,247株 20年3月期第3四半期 16,123,914株

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、米国に端を発した金融危機が全世界の実態経済にも波及し我が国経済にも深刻な影響を及ぼしております。企業収益が急速に悪化し雇用、所得環境も厳しさを増す中で、個人消費も弱まっております。

こうした中、当社では商品開発、リテールサポートに努めてまいりましたが、買い控え等の影響を受け9月以降売上は伸び悩み、当第3四半期累計期間の連結売上高は12,258百万円（前年同期比6.4%減）となりました。連結営業利益につきましては、売上高の減少ならびに金、プラチナ地金の値下がりによる棚卸資産の評価損62百万円を計上した結果、145百万円（前年同期比59.9%減）となりました。連結経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、プラチナ先物取引の評価損57百万円の計上により、△76百万円となり、投資有価証券の評価損105百万円並びに金、プラチナ相場下落による棚卸資産の評価損43百万円を特別損失に計上した結果、連結四半期純損失は235百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して197百万円増加し、24,460百万円となりました。

流動資産は472百万円増加して16,803百万円となりました。主な要因は現預金の増加488百万円、売掛金・受取手形の増加247百万円、棚卸資産の減少213百万円等によるものです。

固定資産は275百万円減少して7,656百万円となりました。有形固定資産は90百万円減少して4,805百万円となりました。無形固定資産は25百万円増加して136百万円となりました。投資その他の資産は210百万円減少して2,713百万円となりました。

(2) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して611百万円増加して10,072百万円となりました。流動負債は728百万円増加して9,144百万円となりました。主な要因は短期借入金の増加335百万円、買掛金・支払手形の増加255百万円、未払金の増加111百万円です。

固定負債は116百万円減少して927百万円となりました。主な要因は役員退職慰労引当金の減少75百万円です。

(3) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して414百万円減少して14,387百万円となりました。主な要因は配当金158百万円、当四半期純損失の計上235百万円です。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより1,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ488百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は473百万円です。主な要因は仕入債務の増加382百万円、棚卸資産の減少213百万円、売上債権の増加281百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は92百万円であります。主な要因は定期預金の預入による支出200百万円、有形固定資産の取得による支出59百万円、保険積立金の解約による収入158百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は108百万円です。主な要因は短期借入金の純増加額335百万円、配当金の支払額158百万円、長期借入金の返済による支出53百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましても今後の経済情勢、市場動向を勘案の上業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月30日付当社「平成21年3月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の業績予想（連結・個別）を修正しております。詳細は平成21年1月30日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化又は大幅な変動による影響を加味したものを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

棚卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,800,955	1,312,692
受取手形及び売掛金	2,593,887	2,345,986
商品	10,507,650	10,555,270
製品	700,699	694,286
原材料	351,271	352,187
仕掛品	342,989	515,964
貯蔵品	97,194	95,188
繰延税金資産	212,735	140,056
その他	237,131	359,032
貸倒引当金	△40,587	△39,331
流動資産合計	16,803,928	16,331,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,172,875	3,159,716
減価償却累計額	△1,972,408	△1,902,158
建物及び構築物（純額）	1,200,467	1,257,558
機械装置及び運搬具	1,445,810	1,448,626
減価償却累計額	△1,222,313	△1,201,394
機械装置及び運搬具（純額）	223,497	247,231
土地	3,179,658	3,179,658
その他	695,370	661,935
減価償却累計額	△493,093	△450,049
その他（純額）	202,277	211,885
有形固定資産合計	4,805,899	4,896,334
無形固定資産	136,585	111,055
投資その他の資産		
投資有価証券	779,667	1,007,847
長期貸付金	264,357	265,257
繰延税金資産	305,507	311,162
その他	1,830,607	1,781,738
貸倒引当金	△466,379	△442,017
投資その他の資産合計	2,713,760	2,923,989
固定資産合計	7,656,245	7,931,379
資産合計	24,460,174	24,262,713

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,119,521	863,831
短期借入金	7,309,000	6,974,000
1年内返済予定の長期借入金	21,651	60,004
未払法人税等	3,805	—
賞与引当金	25,427	95,399
役員賞与引当金	29,781	26,100
その他	635,330	396,923
流動負債合計	9,144,517	8,416,258
固定負債		
長期借入金	0	14,983
退職給付引当金	298,187	263,664
役員退職慰労引当金	370,672	446,282
再評価に係る繰延税金負債	64,903	64,903
その他	193,938	254,560
固定負債合計	927,702	1,044,394
負債合計	10,072,219	9,460,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	4,192,785	4,587,055
自己株式	△382,353	△368,403
株主資本合計	15,409,571	15,817,790
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36,568	△19,568
繰延ヘッジ損益	△57,795	△58,665
土地再評価差額金	△964,867	△964,867
評価・換算差額等合計	△1,059,231	△1,043,102
少数株主持分	37,615	27,370
純資産合計	14,387,954	14,802,059
負債純資産合計	24,460,174	24,262,713

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	12,258,661
売上原価	8,074,656
売上総利益	4,184,004
販売費及び一般管理費	4,038,364
営業利益	145,639
営業外収益	
受取利息	2,349
受取配当金	13,796
投資有価証券売却益	799
保険解約返戻金	16,264
その他	17,332
営業外収益合計	50,543
営業外費用	
支払利息	104,732
手形売却損	18,131
持分法による投資損失	47,549
為替差損	39,137
デリバティブ評価損	57,424
その他	6,187
営業外費用合計	273,162
経常利益	△76,978
特別利益	
有形固定資産売却益	9,946
特別利益合計	9,946
特別損失	
固定資産売却損	696
投資有価証券評価損	105,654
たな卸資産評価損	43,540
特別損失合計	149,892
税金等調整前四半期純利益	△216,924
法人税、住民税及び事業税	64,329
法人税等調整額	△55,958
法人税等合計	8,370
少数株主利益	10,244
四半期純利益	△235,538

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	4,036,802
売上原価	2,666,635
売上総利益	1,370,167
販売費及び一般管理費	1,368,344
営業利益	1,822
営業外収益	
受取利息	398
受取配当金	4,980
その他	7,719
営業外収益合計	13,098
営業外費用	
支払利息	33,949
手形売却損	5,982
持分法による投資損失	21,930
為替差損	31,820
デリバティブ評価損	19,279
その他	2,761
営業外費用合計	115,723
経常利益	△100,802
特別損失	
投資有価証券評価損	34,531
たな卸資産評価損	27,762
特別損失合計	62,293
税金等調整前四半期純利益	△163,095
法人税、住民税及び事業税	△32,299
法人税等調整額	9,461
法人税等合計	△22,837
少数株主利益	5,551
四半期純利益	△145,809

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△216,924
減価償却費	180,058
投資有価証券評価損益 (△は益)	105,654
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,617
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△41,087
受取利息及び受取配当金	△16,146
支払利息	104,732
持分法による投資損益 (△は益)	47,549
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,946
売上債権の増減額 (△は増加)	△281,301
たな卸資産の増減額 (△は増加)	213,092
仕入債務の増減額 (△は減少)	382,554
その他	128,426
小計	622,279
利息及び配当金の受取額	16,163
利息の支払額	△104,184
法人税等の支払額	△60,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△59,695
有形固定資産の売却による収入	10,448
無形固定資産の取得による支出	△57,310
投資有価証券の取得による支出	△18,017
投資有価証券の売却による収入	63,015
保険積立金の解約による収入	158,160
貸付金の回収による収入	1,900
その他	9,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	335,000
長期借入金の返済による支出	△53,336
自己株式の取得による支出	△13,950
配当金の支払額	△158,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,037
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	488,262
現金及び現金同等物の期首残高	1,312,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,800,955

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	宝飾事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	11,916,560	85,110	256,990	12,258,661	(-)	12,258,661
営業利益	99,872	52,840	△7,073	145,639	(-)	145,639

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、社内管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 宝飾事業…宝飾品全般
- (2) 不動産事業…保有不動産の賃貸業
- (3) その他の事業…当社経営の健康ランドの売上

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 第3四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	
区分	金額 (百万円)	
I 売上高		13,092
II 売上原価		8,696
売上総利益		4,395
III 販売費及び一般管理費		4,033
営業利益		362
IV 営業外収益		64
1. 受取利息及び受取配当金	20	
2. 為替差益	13	
3. その他の営業外収益	31	
V 営業外費用		156
1. 支払利息	103	
2. 持分法による投資損失	26	
3. その他	26	
経常利益		271
VI 特別利益		14
1. 貸倒引当金戻入額	9	
2. 固定資産売却益	4	
VII 特別損失		46
1. その他	46	
税金等調整前四半期純利益		239
法人税住民税及び事業税		36
法人税等調整額		54
少数株主利益		△0
第3四半期純利益		148

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	239
減価償却費	162
貸倒引当金の減少額	△9
役員退職慰労引当金の増加額	10
受取利息及び受取配当金	△20
支払利息	103
売上債権の減少額	214
棚卸資産の増加額	△823
仕入債務の増加額	185
営業活動その他の増減額	△11
小計	51
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△109
法人税等の支払額	△249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△287
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△188
有形固定資産の売却による収入	4
投資有価証券の取得による支出	△19
投資有価証券の売却による収入	110
貸付金の回収による収入	1
投資活動その他の増減額	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	1,877
長期借入金の返済による支出	△383
配当金の支払額	△161
財務活動その他の増減額	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,189
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	766
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,197
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	1,964